

優しさと笑顔が集ういずみの家

いずみ野



第33号 (2023年4月1日発行)
社会福祉法人 いずみの福祉会
広報委員会
桶川市川田谷1991-5
TEL 048-786-2213
http://www.izuminonoie.com
E-mail:izuminonoie@violin.ocn.ne.jp



特別活動(近隣の散歩)



月曜・木曜はパンの日!
甘いパンやお惣菜パン各種
おやつや軽食にどうぞ!



ヤクルト製品の販売始めました!



リニューアルオープン Cafe de Izumino カフェ・ド・イズミノ



桶川市役所 1Fにて営業中
月曜～金曜 10:00～14:00
(場合によって営業日変更あり)

- お弁当 300円・400円
- おにぎり 120円
- コーヒー・紅茶 150円
- カフェラテ 200円
- ヤクルトヨーグルト 120円
- パックジュース 120円
- スープ(冬限定) 150円



- パウンドケーキ 180円～
- ラスク、クッキー 100円～
- パン(月・木のみ) 120円
- おせんべい 100円

他にも自主生産品など
取り扱っています。



就労継続支援B型のカフェ業務

就労では仕事として桶川市役所1Fにてカフェ業務に取り組んでいます。テーブル消毒や在庫確認、ゴミの片付けなど、ひとりでは難しいことも職員と協力しながら行っています。お客様へドリンクを渡したり、お話をしたりと接客も楽しみのひとつです。是非、桶川市役所にお越しの際はお立ち寄りください。

新年度を迎えてのごあいさつ



社会福祉法人 いずみの福祉会
理事長 関根 和夫

新型コロナウイルス感染症の発生から3年を経過し、現在「第8波」の只中でこのご挨拶を書いております。今後の考え方として「コロナとの共存」という方向が示されており、5月には、感染症法上の位置づけを「2類」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられる方針が政府において決定されました。また、マスクの着用などの行動制限の緩和、外国からの観光客の受け入れ条件の緩和などがすすめられています。

これまでいずみの家においては、利用者及びご家族、職員及びその家族に感染者の発生がありました。感染が大きく拡大することもなく、最小限の感染で乗り切ることができました。皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。新規感染者が減少してきたとは言え、高齢者や基礎疾患を有する方にとりましてはこれからも大きな心配事です。引き続き感染予防に努めてまいります。

この一年、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により社会生活のさまざまな面で影響を受けています。いずみの家においても施設運営経費に影響が出ています。桶川市からは補助金を交付していただいたところですが、今後も経費の節約に努めてまいります。昨年の春、広報誌第32号においてお示いたしました施設移転改築のための用地につきましては、事情により購入困難になってしまいました。その後も用地の確保に努めておりましたところ、地元の理事の方に、別の候補地について紹介していただき、購入に向けて地権者との交渉を進めているところです。

令和5年度もいずみの家の職員は一人となつて利用者の福祉の向上に取り組んでまいります。

皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



生け花教室の作品

グループホーム ぎんなん 職員紹介 入居者4名と過ごしている職員からのメッセージです!



浅野 多美子

利用者さん達との会話を
楽しみにしています。

小川 邦子

難しい事もありますが
楽しく頑張っています。

加藤 美紀

利用者さんとの関わりを
楽しみながら働かせて
頂いております。

小峯 和良

利用者さんが気持ちよく
過ごせるように心掛けて
います。



ぎんなん利用の皆さん

S

「自宅とぎんなんどっちが
いい?」「どっちも!」と
嬉しい答えが返ってきました。

「いずみの家の移転計画に想う」

社会福祉法人 いずみの福祉会
所長 小野寺 修三



いずみの福祉会にお世話になり、この地で驚きの声を聴きながら桜をめでるのは五回目になる。泉福寺さんの道をたどり、四季折々の富士を眺めながらいずみの家の利用者とお出かける散歩は自分にとっても健康維持に欠かせないなあと感じる今日この頃である。穏やかな毎日を過ごしているように聞こえてしまうかもしれないが、いずみのの家に赴任し、一年を通じて落ち着いて一年を過ごせた記憶があまりない。

ここ二、三年は、新型コロナウイルスに翻弄され、いずみの福祉会の事業も時折ストップしなければならぬ状況になった。コロナ禍に悩まされる前は、台風十九号の影響で、石川の内水氾濫が発生し、いずみのの家の大きな損害を被り、復旧作業で職員もすっかり疲弊してしまい、あの時の心が折れかけた記憶は、ある意味、コロナ以上に職員全体のトラウマとして職員の心に強く残ってしまった。毎年、台風シーズンを迎え、台風が発生するたびにその台風の強さと経路を細かくチェックする作業にも疲れを感じるようになっていた。

台風を必要以上に恐れる必要がない当たり前の環境で安心して事業を進めたい気持ちは管理者として強く感じる。また、利用者・職員とも安心して安全な施設で有意義な時間を過ごす権利ぐらには最低限保証してあげたい想いでもある。

抜本的な解決は、やはり安全な土地への移転であると考え、現在、計画を進めているところである。

しかし、移転先候補地の選定だけでも難しい問題が山積し、遅々として進まない状況が続いた。土地の次の問題は、建設費用の捻出である。国や県の補助金を採択されるためには、やはり桶川市の協力が不可欠な状況にある。ここは、桶川市にも強力にバックアップしていただき少しでも優位な方向に持っていけることを強く願っている。

これは、いずみのの家の利用者並びにその家族が強く願う「安心・安全」を獲得するためであり、また、桶川市の福祉の一助になるような施設づくりを考えてみたいという想いでもある。移転計画の実現に向け、この苦しい状況を打開するため関係各位の知恵と力をお貸し頂けたら幸いである。

セブンイレブン 移動販売車が やってきた!

なにがあるかな?

これにしよう!

長引くコロナ禍で外出行事の機会が減り、日々の生活の中で楽しめる行事を企画しました。セブンイレブン埼玉川島店の移動販売車にて買い物体験を行いました。



販売商品
パン
アイス
デザート
おかし
バナナ
など

お会計
します

大盛況!
とっても
賑わって
います



特別活動



◆地域交流◆
クオポノ フラクラブさんと
フラダンス

◆クリスマス会◆
プレゼントわたしゲーム

◆外出◆
榎本牧場(就労)
城山公園(生活)

総合防災訓練

地震発生及び二次災害として火災発生時の状況を想定し、通報、避難誘導、初期消火活動の訓練を消防署員立ち合いのもとで年2回実施しています。

また、いずみのの家では日頃から防災頭巾に慣れるための練習を行っています。訓練ではスムーズに頭巾を被ることができ、日頃の成果が表れています。

職員もひとりひとり、水消火器を使って消火訓練を行い、有事の際には備えられるようになっています。



水消火器を使用した消火訓練

BCP(業務継続)とは

自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、中核となる業務(事業)の継続、あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における業務(事業)継続の方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

また、BCP(業務継続計画)に伴う災害対策訓練も義務付けられています。

いずみのの家では1月に関係連絡先や関係機関の見直しを行うとともに、非常用の器材(発電機、投光器、簡易トイレなど)の使用点検や、非常食、飲料水、日用品など備蓄品の確認を行います。



発電機、投光器の使用テスト



災害備蓄品